

「あいまいな喪失」 事例検討会のご案内

家族が行方不明であったり故郷の町に戻れない状況を「あいまいな喪失 (Ambiguous Loss)」と呼びます。その支援の第一人者である Pauline Boss 博士と Skype 中継を行い、福島で事例検討会を開催します。Boss 博士からコンサルテーションを受け、あいまいな喪失に苦しむ家族へのアプローチや、その支援に携わる人への支援について、参加者全員で検討します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

講師紹介：Pauline Boss 博士 (ミネソタ大学)

ミネソタ大学名誉教授。自身の体験から「あいまいな喪失 (ambiguous loss) 理論」を提唱。行方不明者の家族、認知症患者の家族など、あいまいな喪失に苦しむさまざまな家族の支援経験をもち、9.11 の米国テロの際にも成果をあげた。著書に『『さよなら』のない別れ 別れのない『さよなら』』学文社、「認知症の人を愛すること：曖昧な喪失と悲しみに立ち向かうために」誠信書房、「あいまいな喪失とトラウマからの回復：家族とコミュニティのレジリエンス」誠信書房など。



日 時：11月22日(日) 9時~16時

対 象：東日本大震災の被災者支援を行う専門職・専門家、行政職員
(保健師、看護師、医師、臨床心理士、精神保健福祉士、社会福祉士、行政職員等)

定 員：70 名 (申し込み多数の場合は、被災地の方を優先させていただきます)

内 容：「事例検討」(Skype 中継)、「あいまいな喪失理論講義」、
「グループ・ディスカッション」

資料代：1000 円

場 所：福島大学 M 棟 3 階 AV 教室
(福島県福島市金谷川 1 番地)

申し込み締め切り：10 月 16 日 (人数に余裕があれば、締め切り後も受付します)

事例検討会の詳細および申し込みは、JDGS Project「あいまいな喪失」情報ウェブサイト (<http://al.jdgs.jp/>) をご覧ください。申込みは HP 内の専用フォームでお申込みください。専用フォームにアクセスできない場合は、ambiguous_loss@human.ryukoku.ac.jp にてお申込みください。

お問い合わせ先 龍谷大学短期大学部 黒川雅代子 ambiguous_loss@human.ryukoku.ac.jp

▶ 主催：JDGS (Japan Disaster Grief Support) Project

共催：日本家族研究・家族療法学会、福島大学生島研究室、ふくしま心のケアセンター

後援：ふくしま被害者支援センター、NPO法人子どもグリーンサポートステーション、
NPO法人仙台グリーンケア研究会